



大きく育てね

「人権の花」 苗の植え替え・6/26

No.5

小奴可小1・2年生12人が、校舎前で「人権の花」の苗の植え替えを行いました。

この苗は、市が毎年4月に人権擁護委員を通じて「人権の花」の種を市内の小学校などに贈呈しており、その種が育ったものです。

児童は、人権擁護委員の渡邊龍司さんと地元の花づくり名人8人に教わりながらプランターに肥料や土を入れ、アスターなど3種類の苗を植え替えました。本年は苗の成長が遅く小さかったため、根元の土を崩さないよう優しく慎重に植え替えていました。



▲優しく慎重に植え替え

高校生が地域貢献から学ぶ

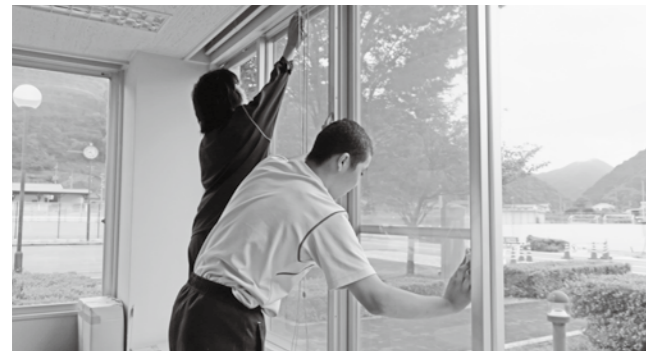
西城地域貢献活動講座

No.7

西城紫水高校は、2・3年生の教育課程に西城地域貢献活動講座を設け、西城町内の施設や企業に生徒を派遣しています。この活動は、高校生の力を西城町の活性化のために役立てることで、生徒の社会性や自己肯定感を育てるとともに、今後の進路選択のきっかけづくりなどを目的としています。

3年生の科目選択者27人は、昨年9月から約1年間、西城温水プール水夢や西城保育所など16カ所を訪れ、清掃活動や行事の準備などを行いました。

西城温水プール水夢で活動した山本竜威さんは「ロッカーの清掃をした時、利用者の方から『ありがとう』と言われてうれしかった。地域に貢献できて良かった」と話していました。



▲窓の拭き掃除を行う生徒

早めの帰宅を促す

防災行政無線に挑戦・7/17

No.4

高野中学生役員2人が、市役所高野支所で防災行政無線の録音に挑戦しました。

この取り組みは、庄原市青少年健全育成協議会高野支部により行われているもので、夏休み期間中の児童生徒が規則正しい生活を送るよう、17時に屋外無線放送を使い、児童生徒の声で帰宅を呼びかけます。

録音に挑戦した生徒は、初め早口になったり、声が小さかったりしましたが、最後は2人とも満足できる内容で録音することができました。

この後、小学校児童による録音も行われ、夏休みには児童生徒の元気な声が高野町内に響き渡ります。



▲録音方法を習う生徒たち

音色を楽しむ

オカリナ教室・6/26

No.6

総領自治振興センターで、オカリナ教室が開催されました。

初めてオカリナを吹いた参加者は、タンギングという舌を使った吹き方や、穴を指で押さえるのに苦戦しながらも「いちばん星みつけた」などの演奏を楽しみました。

参加者からは「オカリナは音を聴くだけで癒やされる」「押さえるのが難しい指があるけど、メロディに合わせて吹くと楽しい」などの感想がありました。

講師の迫江登基子さんは「陶器で作られたオカリナから出るやわらかい素朴な音色が魅力。楽器を吹けることで、生活に潤いや張り合いが出たら良いと思います。講座をしている」と話していました。



▲演奏を楽しむ参加者

住民参画で古民家再生

せとうち古民家ステイズ Hiroshima 長者屋・6/16、22

No.1

比和町三河内で、長く大切にされてきた築250年の古民家を宿泊施設として再生するプロジェクト「せとうち古民家ステイズ」の一環で、住民参加のワークショップが行われ、市内外から2日間で約30人が参加し、古民家再生に従事しました。

参加者は、地元で工務店を営む奥田順紀さんの指導のもと、壊れた土壁を崩し、水を加えて丁寧に練り直し、新たに土壁を塗りなおす修繕作業を行いました。

参加者は、「約250年使っていた素材を利活用し、新たな息吹を吹き込む作業に携われたことは、とても貴重な経験。左官さんの腕さばきを見る機会がないので良い体験になった」と話していました。

9月1日からは、この古民家が宿泊施設「せとうち古民家ステイズ Hiroshima 長者屋」としてオープンする予定です。市民の方向けの特別価格も、27ページ（お知らせ）で紹介されています。ぜひご利用ください。



▲リビングエリア(イメージパース)



▲壊れた土壁を崩して、新たに練り直す参加者



▲外観(イメージパース)

貴重な植物図の展示始まる

比和自然科学博物館特別展・7/19

No.3

比和自然科学博物館で第80回特別展「植物学者牧野富太郎が登った吾妻山」が始まり、オープニングセレモニーが行われました。

進藤眞基館長や展示物の作成に関わったインストラクターなどが出席し、セレモニーの後、学芸員による展示解説会がありました。

今回の特別展は、3年間かけて吾妻山に自生する植物を調査したものをまとめた、植物誌の発刊を記念して企画されたものです。「日本の植物学の父」と呼ばれる牧野富太郎が、昭和7年に初めて吾妻山で植物採集研修を行った記録に関連して、吾妻山で見られる植物の貴重なスケッチ画や植物図の原画を中心に展示しています。



▲真剣に解説を聞く参加者

防災力を高める

口和地域防災研修会・7/5

No.2

口和自治振興センターで防災研修会が開催され、約90人が参加しました。

講師に広島市防災士ネットワーク代表世話人の柳迫長三さんを迎え、1グループ8～10人のグループワークを行いました。建物の図面に、避難者に見立てたカードを置き、避難の手順やルートを想定するなど避難所運営の疑似体験をしました。

参加者からは「事前に施設を把握し、避難所開設を想定すべき」「避難者をどの部屋に誘導すれば良いか判断が難しかった」などの意見がありました。

また、女性部による炊き出しの訓練や防災グッズの展示などが行われ、地域の防災力を高める研修になりました。



▲グループワークをする参加者